への孝行（パ ト１/３）： と献身

5.0

明:クルア ンにおける に する教え。

目: 事宗 行 とその 践スラ ム的モラルと

より: ア イシャ ステ シ (2009 IslamReligion.com)

日06 Dec 2009

集日 09 Aug 2021

もしあなたがグ グルで“ への孝行”という言 を 索すれば、最初の10の 索 果の内の6 目は、 への孝行と の重要性を したイスラ ムの 事を つけるでしょう。どうしてでしょうか? イスラ ムは慈悲、忍耐そして尊敬といった性 に重きを置く宗教です。神は、 へのよい待遇を定められ、彼らを 礼に うことに して忠告されています。クルア ンのいくつかのには、 への孝行は神のみを崇 することとともに、イスラ ムにおいて最も重要なことであるとあります。これは に孝行であること、彼らに敬意を い尊敬することがイスラ ムの生き方で大 重要であることを示しています。

***“??????????????

とに 孝行するのであれば、それは一つの崇 行 の形であると なされます。

神はこの同じ の きで、 はその子供たちを には多大な 牲を うことも わずに しさをもって育てたのであり、その意味でも孝行に するのだ、と私たちに 起しています。ここで神が用いている「翼」という言 はその を しくいたわる母 のイメ ジを思い浮かばせ、それによって子供に する の しさを 想させるのです。

“?????????????????????????????????‘?????????????????????????2?????????????????????????’????????????”? (????? 17:24)

と慈悲は最も慈悲深い神から されるものであり、それらは とその子供たちの に存在するいたわり合いの中に明白に表れています。神は を く うことをはっきりと禁止され、そしてクルア ンの の では私たちに、私たちの 造者であるかのように、私たちの にも感 を示す必要があると命ぜられています。

“???2???” (?????31:14)

言者ムハンマドは への孝行の を しています。ある 言者の教友の一人が、人が行うことの出来る最も神に されるような多くの善行とは何か、 ねたことがありました。 言者ムハンマドは彼に、“定められた に礼 することだ”と答えられました。それからその教友は ねました。“それではその次は何ですか? ” 言者ムハンマドは“あなたの に良く、忠 であることです”と答えました。[1] 孝行の は、イスラ ムの最重要 である礼 の次に来るものです。

孝行以上に

への 切、という表 においてクルア ン及び 言者ムハンマドの 承で使われているアラビアは「???」です。そしてたいていの 合、その言 は孝行と されます。しかしながら、多くのアラビア の言 は英 へ直 すると、その意味の深さをうまく 明することが出来ません。??? 「」にはただ に孝行だけではなく、 切や慈悲、尊敬や忍耐といった意味も含んでいます

。イスラ ムという生き方はこれら全ての性 を　していますが、ムスリムは全てにおいて、そして特に　と子供たちの　において、このような性 に った振る舞いの手本となる努力をしなければなりません。

　はその全人生において子供たちを世 し 育しますが、ある 点でこの　は逆となり、　は年老い衰弱し、今度は彼ら自身が世 と助けを必要とするようになります。子供は????の全てのたちを踏まえつつ、そしてそこにおける 酬が神からあることを知りつつ、　の世 をする　があります。 言者ムハンマドはこう言いました：「これら3つの性格 弱い者への しさ、　への 、そして奴 への 切 をもつ者は、神が彼に安らかな死を与え、そして天国へと かれるであろう。」

ある男の献身

アブ　フライラは 言者ムハンマドに近い教友の一人でした。彼は 言者の多くの言 を　し、えることで人々の信 を得ました。アブ　フライラの人生はまた、彼の母への と献身の多くの印で溢れています。彼が最初にイスラ ムに 依した 、彼の母にも同じようにするように 得するだけの力はありませんでした。彼はこのことで き悲しみ、恐れる余り、 言者のもとに行って、神に彼の母が かれるよう　してくれるよう彼に みました。 言者ムハンマドはこの いに じ、そして もなくアブ　フライラの母は“アッラ 以外に神はなく、ムハンマドは神の で使徒である”と 言し、イスラ ムに 依しました。

アブ　フライラは彼の生涯を通して、彼の母への孝行と思いやりを きました。彼が家を出る にはいつも彼女の部屋のドアの前に立ち、“お母さん、あなたに平安がありますように。そして神のご慈悲と祝福がありますように”と言い、そして彼女は“そして息子よ。あなたにも平安がありますように。そして神のご慈悲と祝福がありますように”と返していたものでした。そしてまた彼は彼女に、“あなたが幼かった の私の世をしてくれたことゆえに、あなたの上に神のご慈悲がありますように”と言い、一方彼女は“私が老いた の　いから私を いてくれたことに して、あなたの上に神のご慈悲がありますように”と返したものでした。

アブ　フライラは他の人々に してもいつも、　に孝行するようにと励ましました。ある日彼は、2人の男が共に いているのを 、若い方に“この男性はあなたにとって ですか? ”と ねました。すると若い男は“彼は私の父です”と答えました。アブ　フライラは“彼を名前で呼ばないように。そして彼の前を かないように。また彼が座るまで座にはつかないように”と助言しました。

アブ　フライラと彼の母のこの しさと献身は、相互の尊敬と が　であることを私たちに教えてくれます。ムスリムは例え　がムスリムでなくとも、彼らに敬意を わなくてはなりません。そして彼が　に示せる一番の は、神に彼らがイスラ ムに かれるよう希望をもって祈 することです。 言者 代、イスラ ムに 依した多くの者は、彼らの　の信条や要求と 突したものでした。しかし彼らは、　から神への不　となるような要求を除いては、 孝行であるよう命じられたのです。

***“ ??????????????